

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研究課題名	当院リハビリテーション科における患者転倒予防の取り組みについて
研究責任者 (共同研究者)	山口 晟矢
研究目的と意義	<p>リハビリテーション中の患者転倒件数が2019年度16件、2020年度14件、2021年度17件だった。中でも2021年度は同一のセラピストによる転倒が4件、松葉杖歩行介助中の転倒が2件あった。全体的に危険予知不足による転倒が多かった。そこで、2022年度は転倒件数を減らすことを目的にリハビリテーション科医療安全チームで取り組みを行った。取り組みを行った結果転倒件数が減少したかどうかを検証するものである。</p> <p>【取り組み】</p> <p>2022年4月からリハビリテーション科スタッフを対象に電子カルテで使用しているパーソナルコンピューターにスクリーンセーバーを使用し、実際に起きた患者転倒事例や転倒件数を毎月更新して周知した。転倒があった際は、病棟担当ごとに再転倒予防対策を行い、全体へ周知した。また、松葉杖に関する手技の学習会を実施した。</p>
調査対象となる方 (該当期間)	2021年4月1日～2022年3月31日に入院し、リハビリ介入した患者2807名、2021年4月1日～2022年3月31日に勤務したセラピスト98名、2022年4月1日～2023年3月31日に入院し、リハビリ介入した患者2727名、2021年4月1日～2022年3月31日に勤務したセラピスト95名。
研究方法 (使用する情報)	電子カルテに記載のある診療記録を利用します。 (患者の性別、疾患、年齢と転倒有無、セラピストの性別、職種、経験年数と転倒有無)
研究期間	倫理委員会承認日(2023年4月14日)～2024年3月31日
個人情報の取り扱い	個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報(イニシャル、生年月日、当院IDなど)は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	<p>この研究に関して新たに患者さんにしていただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。</p> <p>お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 リハビリテーション科 研究責任者：山口晟矢 電話番号：0172-55-7717</p>
備考	特記なし